

おだいじに /



● 気になることがありましたら、当院へお気軽にご相談ください

製造販売業者
ノバルティス アニマルヘルス株式会社
東京都港区西麻布4丁目12番24号

ノバルティスカスタマーサービス TEL 0120-162-419
月～金 9:00～12:00, 13:00～17:00 (祝祭日除く)

ATP-1209-114-PI

猫の
皮膚病

アトピカで
治療を受けられる
オーナーさまへ



かどやアニマルホスピタル 門屋 美知代 先生 著

いつものように過ごす幸せ。

 **NOVARTIS**
ANIMAL HEALTH

アトピカ[®]

内用液

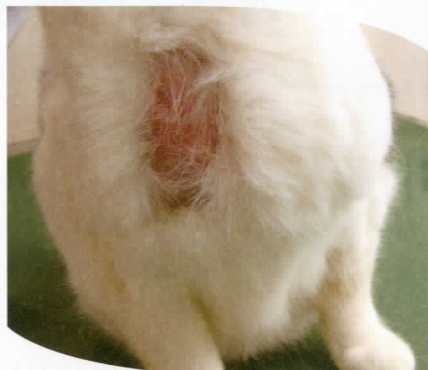
猫の皮膚病 こんな症状がよくみられます

◎ 顔や首の皮膚炎、脱毛



かゆみやストレスのため、過剰に体をかくことで脱毛が生じています。

◎ びらん・潰瘍^{かいよう}



かきむしったり、なめたりすることで皮膚の表面がはがれ、真っ赤になったり出血したりします。

◎ 粟粒性皮膚炎^{ぞくりゅうせいひふえん}



フケや血液、膿^{うみ}などが乾いて固まった「かさぶた」状の付着物を伴う皮膚炎です。

◎ 好酸球性プラーク^{こうさんきゅうせい}



かきむしることや毛づくろい(グルーミング)が引き金となって、皮膚の表面がびらんや潰瘍^{かいよう}を伴って盛り上がったようになります。

◎ 無痛性潰瘍^{むつうせいはいよう}



くちびるに盛り上がった皮膚炎がみられます。

◎ 自己誘発性脱毛^{じこゆうはつせいだつもう}



毛づくろい(グルーミング)のしすぎで、おなかや手足に脱毛が生じています。

猫の皮膚病の原因

猫の皮膚病にはさまざまな原因があり、かゆみを示す場合は以下のような原因が考えられます。

^{かいせん}

疥癬

疥癬虫^{かいせんちゅう}というダニの一種が皮膚に穴を掘って寄生。
(強いかゆみがある。)

^{ひふしじょうきんしょう}

皮膚糸状菌症

カビの一種が感染し、脱毛や赤みがみられる。菌の種類によっては同居している犬猫や人間にも感染する。

耳ダニ

耳の中にダニが寄生。顔を中心にかゆがり、黒色の耳アカが増える。

食物が原因となるかゆみ

食物中の成分に対しておこるアレルギー。

ノミアレルギー

ノミの寄生で起こる。猫が自分でグルーミングできない背中から腰付近に症状がよくみられる。

蚊のアレルギー

蚊に刺されて起こるアレルギー。耳や鼻によくみられる。

アトピー性皮膚炎*

アレルギーの1つで、環境中のハウスダストマイトや花粉などに、体が過剰に反応する。強いかゆみを示す。

*: 猫では「アトピー性皮膚炎」という診断名は確定していません(2012年現在)。ここではノミや食物以外が原因となるアレルギー性皮膚炎を、アトピー性皮膚炎とします。

猫の皮膚病 検査と診断

皮膚からにじみ出た膿や液体成分を顕微鏡で見る「細胞診」を行い、細菌感染の状態や腫瘍細胞の有無などを調べます。その他必要に応じて、以下のような検査を行って原因を特定します。

疑われる皮膚病	おもに行う検査	どんなことをするの？
疥癬	皮膚掻爬試験	皮膚表面をかきとり、寄生虫の有無を顕微鏡で調べる。
耳ダニ	耳垢検査	耳アカの状態を顕微鏡で調べる。
皮膚糸状菌症	ウッド灯検査	暗室で特殊な光をあてることで、真菌感染の有無を調べる。
	培養検査	フケや被毛を培養し、細菌や真菌の感染を調べる。
ノミアレルギー	触診・視診	コーム(くし)などを使い、注意深く観察することでノミの成虫やフンを見つける。
	ノミ駆除剤の試験的投与	ノミの駆除剤を投与し、反応をみる。
食物有害反応(食物によるかゆみ)	除去食試験	病院で処方される療法食と水のみを2ヵ月与えることにより、かゆみの原因が食物かどうか判定する。
アトピー性皮膚炎	血液検査(IgE検査)	血液中のIgEという物質を測定することにより、原因を検出する。
	皮内試験	皮膚にアレルギーを引き起こしそうな物質を注射し、反応をみることで、アレルギーの原因物質をさぐる検査。

アレルギー性皮膚炎の原因と治療

アレルギーとは？

ヒトや動物の体では、体内に侵入しようとする異物(主に病原体などのタンパク質)に対して「抗体」を作って体を守ろうとします。しかし、体質によってはこの反応が過剰におきてしまい、体に異常が起こります。この反応がアレルギーで、原因物質となる異物のことを「抗原」または「アレルゲン」と呼びます。日常生活には、アレルギー反応を引き起こすさまざまな原因物質が潜んでいます。たとえば、ハウスダストマイ



それぞれが単独で起こることもあれば、複数のアレルギーが同時に起きていることもあります。

治療法

猫のアレルギー性皮膚炎の治療方法はいくつかありますが、うまく組み合わせることにより、体により負担が少ない方法をさぐりながら、総合的に管理する必要があります。



◎ 治療のメリットとデメリット

治療法	メリット	デメリット
必須脂肪酸などのサプリメント	副作用が少ない フードに配合されて 与えやすいものもある	効果が弱い 嗜好性の問題で投与が困難
抗ヒスタミン剤	安価	効果が弱い
減感作療法	唯一の根本治療 副作用が少ない	治療が実施可能な施設が限られる / 注射のため、初期は頻繁に通院が必要 / 血液検査もしくは皮内試験が必要
シクロスポリン (アトピカ)	ステロイドより全身性の副作用が少ない 投薬頻度を減らせることが多い	ステロイドに比べ即効性がない
ステロイド (副腎皮質ホルモン)	即効性がある 安価	副作用が強い

アトピカによる治療

● アトピカはどんなお薬？

アトピカは「免疫抑制剤」と呼ばれ、体に起こる異常な免疫反応を抑えるお薬です。アトピカの有効成分は「シクロスポリン」といい、猫のアレルギー性皮膚炎の治療に使われます。また、シクロスポリンは人間のアトピー性皮膚炎の治療にも使われているお薬です。

アトピカは、アレルギーの原因となる原因物質(アレルゲン)の体内への侵入によって起こる過剰な免疫のはたらきをブロックし、アレルギー反応を抑え、症状を和らげます。

● アトピカによる治療例



▲ 治療前



▼ 治療後(2週間後)

体を常にかきむしったり、かんだりする状態で、約1年半にわたりステロイドを継続していた。アトピカ開始後、1週間程度でかゆみが消失しはじめ、毛が生えはじめた。投与開始2ヵ月後から1日おきの投与とした。状態がよいときは一時的に休薬し、悪化時には週2回で投薬しながら、状態を維持している。



▲ 治療前



▼ 治療後(6週間後)

● アトピカの効果

日本国内の臨床試験では、アトピカを投与42日後に、オーナーさまの93%、獣医師の先生の89%が「症状が非常に改善した」あるいは「改善した」と感じたという結果が出ています。症状の改善具合によって、お薬を飲む頻度を減らせる場合があります。

● アトピカの副作用

アトピカを服用していると、嘔吐や下痢などの胃腸障害がみられる場合があります。多くは一時的に発症するもので、お薬を飲み続けていると次第におさまることが国内外の試験で報告されています。

もし、このような症状がなかなかよくなる場合、またはその他の症状がみられた場合は、かかりつけの獣医師の先生にご相談ください。

アトピカ内用液の投与方法

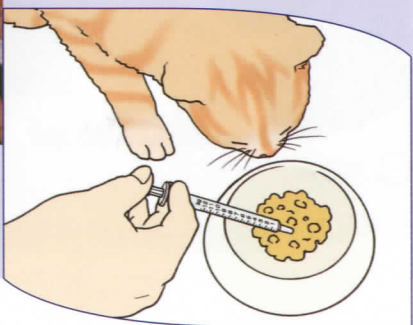
アトピカ内用液は液体のお薬です。

ごはんと混ぜて飲ませることも、直接口の中に入れて飲ませることもできます。



● 付属する投与用のシリンジを使って口のわきから入れます。

● ごはんと一緒に与える場合は、少量のごはんと混ぜるようにし、十分な空腹時間を設けてごはんを残さないようにしましょう。



注意事項

- ネコちゃんの体重によって投与量が違います。獣医師の先生の指示にしたがい、薬の用法・用量を正しく守ってください。
- お薬のボトルのゴムの中栓はかたくしっかり入っていますので、初めて開ける際にはご注意ください。
- お薬が手に付いたときは、手を洗ってください。
- 投与用のシリンジは**水で洗わず**、外側を清潔な紙タオルなどでふいて、ケースに入れて保管してください。
- お薬の入ったボトルは、外箱に入れて直射日光および高温を避けて保管してください。



投与にあたっての詳しい説明は「アトピカ内用液の使い方」をご覧ください。

皮膚病と上手に付き合うコツ

● アレルギー性皮膚炎は「症状を緩和すること」が目標

アレルギー性皮膚炎は治らない病気なので、一生にわたって管理していく必要があります。治療を組み合わせることで総合的に管理し、「症状を緩和する」ことが目標になります。

● メリットとデメリットを理解し、あせらずに治療を

アレルギー性皮膚炎では、ほとんどの治療が、効果が出始めるまでに数週間から数カ月かかります。効かないからといってすぐに治療方法を変更しては、大事なネコちゃんに投薬の苦痛のみ与えてしまうことになりかねません。一生つきあっていく病気ですから、あせらずに獣医師の先生とよく相談し、それぞれのメリット・デメリットを理解したうえで、ネコちゃんの症状とご家族の生活にあった治療法を選択することが大事です。

● 定期健診を受けよう

アトピーは一生にわたる病気ですが、常に症状が一定であるとは限りません。季節による温度の変化や、引っ越しによる環境の変化、ネコちゃんの年齢によっても症状は変わります。定期健診は必ず受けるようにしましょう。



● お薬の準備を工夫して

ネコちゃんは音や臭いにとっても敏感です。ネコちゃんの前で、お薬を準備すると逃げてしまうことも。投薬の準備をしてから、ネコちゃんを呼びましょう。

● ストレスがたまらないように

投薬はネコちゃんにとっては、とても苦痛なこと。そのぶん、普段の生活でストレスがたまらないよう工夫してあげましょう。



治療日誌をつけましょう



症状や睡眠、活動性などを記録しましょう。写真を撮って経過をチェック✔すると、治療の効果などを知ることができます。

月	非常にかゆがる ◀ ▶ ほとんどかゆがらない 症状 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与 した・しない
	元気がまったくない ◀ ▶ 元気で活発 活動性 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	
日	寝ていない ◀ ▶ よく寝ている 睡眠 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与回数 日に1回
	非常にかゆがる ◀ ▶ ほとんどかゆがらない 症状 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	
月	元気がまったくない ◀ ▶ 元気で活発 活動性 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与回数 日に1回
	寝ていない ◀ ▶ よく寝ている 睡眠 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	
日	非常にかゆがる ◀ ▶ ほとんどかゆがらない 症状 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与回数 日に1回
	元気がまったくない ◀ ▶ 元気で活発 活動性 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	
月	寝ていない ◀ ▶ よく寝ている 睡眠 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与回数 日に1回
	非常にかゆがる ◀ ▶ ほとんどかゆがらない 症状 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	
日	元気がまったくない ◀ ▶ 元気で活発 活動性 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	投与回数 日に1回
	寝ていない ◀ ▶ よく寝ている 睡眠 ○—○—○—○—○ 5 4 3 2 1	